

～長野県木曾町との職員交流終了レポート～ 高橋主任、おかえりなさい！

本年4月より半年間、長野県木曾町に職員派遣交流で赴任していただきました福祉課の高橋義広と申します。

この半年間は、短い期間ではありましたがとても充実した毎日をご過ごすことができました。そして見聞を広める良い機会になりました。

着任して間もなくは、木曾町の土地勘もなく方言や文化の違い、見るもの全てが新鮮で、北海道にはない建造物、風景にとっても感動しました。



▲木曾町の街並み

業務の方では農林振興課でお世話になり、主に北海道には生息していないイノ

シシ、ツキノワグマ、ニホンザルからの被害対策業務、緩衝帯整備事業、今年6月8日(土)に木曾町が開催地であった長野県植樹祭の準備や運営に携わらせていただき、イベント運営の仕方や準備等参考になりました。また、観光商工課の県外での観光PRイベントにも同行させていただきました。



▲学習放獣のため麻酔で眠っているツキノワグマ

町のイベントにも参加させていただき、木曾町の大イベントである「みこしまくり」では、木曾町の皆さまと共に実際に神輿を担がせていただきました。神輿の重さと迫力に驚きなが

らダイナミックなお祭りを肌で感じる事ができました。



▲木曾町役場の皆さんと参加した「みこしまくり」

様々な業務を行ってまいりましたが、7月に木曾町において長野県初の感染が確認された豚コレラ対応にあたっては、有事の際の防疫対応等において非常に貴重な経験をすることができました。

また、5年前に噴火した木曾町のシンボルでもある御嶽山(標高3,067m)にも、清掃登山を通して3度登頂することができました。

半年間、木曾町の職員の皆さま、関係団体の皆さま、町民の皆さまにお世話にな

りながら、なんとか業務や生活を行うことができ、私にも有意義な時間を過ごすことができました。

木曾町の皆さまとこうして繋がることのできた交流を、今後も継続してより密接なものとして互いのまちの発展となる関係を続けていく起点となればと感じています。

最後になりますが、この半年間の経験を活かして、福島町のためになる仕事をやるよう尽力してまいりますので、今後ともよろしくお願いいたします。



▲御嶽山(標高3,067m)の清掃登山